

新日本グローブ空手道連盟 グローブ空手ルール試合規約

〈グローブ空手〉 〈壮年部ワンマッチ〉

A-1 軽量級	B-1 中量級	C-1 重量級
62 kg以下級	68 kg以下級	73 kg～83 kg以下級

〈ジュニアグローブ空手〉

A-1Jr	B-1Jr	C-1Jr
小学1・2年生	小学3・4年生	小学5・6年生

〈中学生ワンマッチ〉

中学生 A-1〈男子〉	中学生 B-1〈男子〉	中学生 A-1〈女子〉	中学生 B-1〈女子〉
55 kg以下級	65 kg以下級	50 kg以下級	60 kg以下級

◆各階級、トーナメント戦の参加人数が少数の時、ワンマッチ試合になる場合があります。

試合形式

〈グローブ空手〉

本戦2分、延長2分。 決勝戦3分、延長2分。

(全て再延長は無しとする。体重が軽い方が勝者とする。)

〈ジュニアグローブ空手〉〈中学生ワンマッチ〉〈壮年部ワンマッチ〉

本戦1分30秒、延長1分。 決勝戦1分30秒、延長1分。

(全て再延長は無しとする。体重が軽い方が勝者とする。)

防具(試合用の防具は主催者側が用意する新日本グローブ空手道連盟認定の防具以外の装着、使用を不可とする)

〈グローブ空手〉

グローブ A-1・B-1・C-1 全て14ozグローブ

スネパッド、ひざパット、マウスピース、金カップ

道着の帯は、試合中解けないようテーピングなどで必ずとめること

〈ジュニアグローブ空手 中学生ワンマッチ〉

A-1Jr・B-1Jr・C-1Jr・D-1Jr 全て新日本グローブ空手道連盟認定グローブ

スネパッド、ひざパット、金カップ、ヘッドギア

道着の帯は、試合中解けないようテーピングなどで必ずとめること

(マウスピースの着用は自由とする。ボディープロテクターは女子選手のみ着用を自由とする。)

出場資格

〈グローブ空手〉 満16歳～満45歳までの男性。キックボクシング又は打撃格闘技のプロ(プロ実践が1戦でもある選手)は出場できない。

〈ジュニアグローブ空手〉 小学校1年生から6年生の男女。

〈中学生ワンマッチ〉 中学校1年生から3年生の男女。

〈壮年部ワンマッチ〉 満46歳～満60歳までの男性。キックボクシング又は打撃格闘技のプロ(プロ実践が1戦でもある選手)は出場できない。

勝敗(KO・TKO・技有り)

- ①KO(一本勝ち)5秒以上のダウンをした時。
- ②本戦で2度のダウンがあった時。延長戦も同じ。
- ③相手選手のセコンドよりタオル投入があった時。
- ④相手選手にダメージがあり、試合続行不可能になった時。
- ⑤両選手の実力差が歴然とある時は、試合途中においても勝敗の判定を下すことがある。
- ⑥相手が明らかに戦意喪失した時、又は審判がそれと判断した時。
- ⑦技有り・パンチ・キック等で、一時的に相手に的確にダメージを与えた時、倒れなくてもダウン(技有り)とする。
- ⑧選手が負傷し大会医師が試合続行不可能と判断した時は、試合を続行できる選手のTKO勝ちとする。
- ⑨故意に反則をした場合も、反則負けとする。
- ⑩判定の場合、副審の旗が2本以上上がった側が勝ちとする。

反則技

- ①頭突き
- ②金的攻撃
- ③顔面への肘・膝
- ④目突き
- ⑤首絞め
- ⑥投げ技
- ⑦関節技
- ⑧噛みつき
- ⑨倒れた相手への攻撃
- ⑩道着をつかんでの攻撃
- ⑪背後からの攻撃
- ⑫やめの合図後の攻撃
- ⑬手足をつかむ行為
- ⑭相手の体を手でつかんで(首相撲)の攻撃
- ⑮相手の足を故意に踏みつける行為
- ⑯一方的に攻撃を受け故意に場外に逃げたり、攻撃意思のない態度の場合(場外カード3回で失格)。

※ジュニアグローブ空手、中学生ワンマッチは「蹴り」以外での顔面への攻撃は全て反則。

失格及びルール

- ①レフリーの判断により、悪質な試合態度と判断された時。
- ②試合時間に遅れた時。出場不可能な時。
- ③測定体重がオーバーしている時。
- ④イエローカードを3回受けた時。(反則は口頭注意2回でイエローカード減点1)
- ⑤故意に反則した時。
- ⑥マウスピースを付けずに出場したり、ワセリン・オイル・油脂類及び薬品類を塗布した時。
- ⑦セコンドの罵声、悪質な態度により、選手が失格になることがある。
- ⑧コンタクトレンズをしての試合出場は認めない。

※上記に明記されていない不測の事態が生じた時は、大会審判長・レフェリー・審判による協議の上、最終判断を下す。